

# 新居浜市議会議員

## ながやす 永易ひでき



平成23年4月  
《活動報告》

### 東日本大震災の被災地に現地入りし、

### 救援活動を行いました。

永易ひできを応援していただき、誠にありがとうございました。

皆様からたくさんのご支持をいただき、新居浜市議会議員としての第一歩を踏み出してから、早いもので4年が経過しました。

自らの活動の大きな柱として、「福祉」「防災」の二つを掲げ、それらの実現に向けて活動しています。

4年間の質問回数は12回、そのうち福祉に関する質問は28項目、防災に関する質問は8項目です。

#### 【東日本大震災について】

3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

永易ひできは、地震の翌日に、災害救援ボランティア団体を立ち上げ、活動しています。

最初の活動として、千葉県浦安市にスコップとバケツなど計八百個の物資を送りました。



3月26日の街頭募金活動

3月19日には、イオンモール新居浜で、26日には、パルティフジ新居浜駅前店とイオンモール新居浜で、27日には、パルティフジ新居浜駅前店で、街頭募金活動を行いました。たくさんの方の善意が集まり、そのお金をもちに、4月8日に新居浜市を出発し、宮城県石巻市、女川町に現地入りしました。



4月8日、新居浜東高生から被災地へ宛てた色紙をおくられました

現地入りの前日の4月7日には、今までにない震度6強という大きな余震があり、被災地の皆様の疲労や不安はピークに達していました。

市民の皆様や市内企業の善意で、缶詰やレトルト食品、毛布、防寒着などの物資を4トン車1台と2トン車2台に積み込み、現地入りしました。

4月9日に、市内企業や団体の協力を得て、新居浜名物の「いもだき」の炊き出しを行い、温かくておいしい料理に被災者の皆様の間には笑顔も見られ、感動もひとしおでした。

永易ひできは、今後も継続して「新居浜災害救援ボランティアネットワーク」として活動を行ってまいります。

#### 【災害への思い】

永易ひできは、これまで新潟県中越大地震や中越沖地震など数々の災害現場で復旧活動に携わっています。

平成16年の台風災害のとき、永易ひできはボランティアセンター長補佐として「ヘドロかき出しツアー」を企画し、全国からたくさんの方々が新居浜に救援活動に訪れました。



4月9日、被災地にて。船が屋根の上に乗っています。

台風災害のときに新居浜市が全国から助けってもらった恩返しとして、またこれから新居浜市が災害に見舞われたときのために、全国との支援の結びつきの輪を広げていきます。

「新居浜災害を考える実行委員会」委員長として、定期的に防災講座を開催したり、「全国災害ボランティア議員連盟」理事として被災地への支援を行ったりしています。

「災害に負けない強いまちづくり」を実践するために、今後も邁進してまいります。



3箇所の避難所で、いもだきの炊き出しを行いました

行動力

37歳若さ  
と情熱